

学外研修報告書

フィールド科学系部門 生物科学班

山口 信雄

第 41 回質量分析講習会 報告

1. はじめに

質量分析装置を担当するにあたり、原理および装置の習熟のみならず、最新の手法および研究の傾向などの情報収集を常に行う必要がある。今回は日本質量分析学会が主催する講習会に参加し、質量分析の実際について講義を受けた。

2. 期間・場所

期間：平成 29 年 6 月 22 日～23 日

会場：大阪大学理学部

3. 参加者等

50 名

4. 研修内容

阪大・京大・九大・関西大・大阪府立大・鳥取環境大・横浜市立大・住友化学・NIBIOから 12 名の講師が招かれ、2 日間にわたり講義が行われた。内容は質量分析法概論、イオン化法・質量分析装

置・クロマトグラフィーの基礎、スペクトルの見方とフラグメンテーションの基礎、代謝物バイオマーカーおよび構造解析、タンパク質バイオマーカー、薬物動態における LC/MS 解析、バイオ医薬品解析など、基礎から応用まで多岐にわたる。また、オプションの FAB 装置見学も希望した。

5. まとめと感想

かなり濃密な内容であり、分析化学、物理学、低分子有機化学、生化学、薬学と広範囲な分野にわたる講習となった。実際の検出・研究例と合わせて講義がなされ、実践的な内容も多分に含まれていた。参考資料も豊富に用意されており、後日の復習にも十分対応できるようになっていた。現在の配属先では、高分子有機化合物（タンパク質・ペプチド）をターゲットとした測定依頼の体制をとっているが、本講習で紹介されていた SALDI 法を導入し、低分子化合物の解析サービス体制も整えたいと思うようになった。